

期末定期試験の持込み条件について

試験時間割で持込み条件を確認する際は、それぞれ持込み内容によって以下の解釈が適用されますので、各自注意してください。

ただし、解釈が異なる場合などは、その旨条件欄に記載しています。

持込み区分	原則的な解釈
テキスト 参考図書	・ 現物のみ（コピーは不可） ・ 書き込み可
自筆ノート	本人が自身で筆記したノート （ノートのコピーや、PC で作成し出力したものや、配布プリント（コピーを含む）を貼付したものは不可）
ノート全般	自筆ノートに加え、PC で作成し出力したものや、配布プリント・参考資料・他者が筆記したノート等のコピーを貼付したノートも可とする。
配布プリント	コピー可、書き込み可
辞書（電子辞書も可）	・ 現物のみ（コピーは不可） ・ 文字による書き込みは不可 ・ 通信機能のあるものは不可
辞書（指定） 六法（判例なし限定） 六法（判例つきも可）	・ 現物のみ（コピーは不可） ・ 文字による書き込みは不可

※ 持込み条件とは、答案を作成する際に使用してよいものを、教員が指定するものです。

※ 持込みがすべて可の場合も、本学図書館蔵書の持込みは認められません。

また、試験時に携帯電話等の通信機器は使用できません。（不正行為取扱規程第2条第2項）

※ その他判断に迷うものがあつた場合は、必ず事前に教員へ確認してください。確認なく持ち込んだ場合、不正行為とみなされる場合があります。